
進むモノ

messiah

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
進むモノ

【Nコード】
N7305H

【作者名】
messiah

【あらすじ】
求めるモノ第2部。あらすじ等はそちらを参照。 現在更新休止中。求めるモノを先に読んでからこっちを読んでください。

作者より

作者です。この物語は求めるモノを見ないと話が分からないしそもそもこの物語は求めるモノの2部だからあつちをさきに読んで欲しいんだ。

それでまあとりあえずページだけ作ってあとは24日まで放置と。

1話 葛藤の里帰り（前書き）

〇〇の男なら、やる気を見せろ、恐れることはなく、いざあ行こうぜ、というわけで再開もしくは2部開始だよ。よろしく。1部の感想さみすぎw泣きそうだったよ。でも感想が少なくてもメールは入っている謎。ちなみにメアドは（blue|messiah1993@yahoo.jp）です。でも求めるモノのところを書いてくれたらうれしいな

1話 葛藤の里帰り

8月7日。

練習は盆休みに入るため1週間ほど休みになった。自分も帰るつもりは無かったが3日ほど帰ることにした。

あの手紙を確かめるために。

住宅街にあるちょっと周りよりは大きい一軒家。

「ただいま。」

玄関には弟の翼がいた。

「おかえり。お母さんなら買い物でいないよ。にしても夏になると黒くなるな兄貴は。」

「そういうお前も十分黒いよ。」

妹の由紀奈が2階からでてる。

「あれ？変えっってきたの？」

ちなみに由紀奈は中2、翼は小6。翼は自分がいた少年野球チームのキャプテンをしている。

「10日の朝に戻る。1週間全部ここにはいられない。」

「それで。お兄ちゃん。女の子は連れて来ないの？」

「いても連れて来るかバーカ。」

一瞬後島さんの顔が浮かぶ。後島さんも早く戻るって言っていたが、ってなんで後島さんがここで出て来るんだ。

「お兄ちゃん顔が怪しい。もしかして彼女いるんじゃないの？」

後島さんは彼女ではないただの寮が隣っただけで……ってさっきからなんで後島さん限定なんだ。

「ほらなんか怪しい。もう作ってるんじゃないのもしそうだったらその子のはらわた引きずり出して……」

「はいはい。」
向こうがテンパリだったので退散する。

2階にある自分の部屋に戻る。やっぱりベットの感触が気持ちいい。ふう・・・さて親父の筆跡鑑定をしてもらわなければならないが。でもそんなのあるかなあ・・・サインは真似可能だしできるだけそういう偽造とかの可能性ないもの・・・DNAは高校生なんかじゃ無理だし・・・

監督なら親父とは高校からの仲だし何か持ってるかも・・・

いや。この問題は自分で解決してみせる。とりあえず家になんかないか探すか。

1階のリビングに行く。とりあえず何か手紙はないか本棚とかを探す。

ん・・・この箱は・・・よし親父が書いたらしい手紙をかなりの枚数ゲット！でもそんなに大量もいらさないな。
部屋に戻り、手紙の中身を見る・・・

うん。うん。とりあえず親父が母さんにベタボレで逆もまたしかりということがわかったよ。うん。まあ時期は多分10年以上前だろうけど大丈夫だろう。

明日行くか。そういうことやってるとこ探さないと。急ぐ必要もない。明日でなくとも学校に戻って学校の近くで頼むのもいい。

「ただいまー英哲は帰ってきたかい。」
母さんが帰ってきた。箱は手紙を数枚を抜き取って返しておくか。

1話 葛藤の里帰り（後書き）

自分はここに書こうと思ったときすぐに英哲とは行かなかった。なにかのファンフィクションから入ろうと思ってたし。まあ結局雅彦息子の英哲の物語を書こうと決めたのは雅彦を久しぶりになんか書きたくなったと。んで雅彦の物語をそのままコピペあるいは書き直し書くのもアレだからというので息子を主人公に。そのせいか二人の性格がかなり似てます。というか似てきてます。そんなはずでは・
・ あとファンフィクション書くならロクゼロになるかなあ・
・ Xだったりするかなあ・ まあ高校生がXはかなりレト口好きなのかなあ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7305h/>

進むモノ

2010年10月10日02時09分発行